



年頭のご挨拶



一般社団法人 岩手県畜産協会
会長理事 伊藤 清孝

新年を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

まずもって、昨年は、2月に、大船渡市において林野火災が発生し、最終的には延焼範囲が約3,370haに達したほか、家屋被害が226棟に及ぶなど、平成以降では国内最大の林野火災となりました。被災地におかれましては、一日も早く復旧・復興が進展するよう念願いたしております。

また、昨年は、新年早々の1月に、本県において高病原性鳥インフルエンザが5事例連続して発生し、発生農場のみならず関連施設においても甚大な被害を受けました。今シーズンは、令和8年1月9日時点において全国で9道府県14事例の発生が確認されていますが、本県においては、引き続き、防疫対策の一層の徹底や、県をはじめ関係機関・団体等の防疫体制の確保に万全を期して参りましょう。

さて、食料安全保障を担う重要な基幹的農業従事者数が、2025年農林業センサスによると、5年前の調査より25%も減っており、さらに2025年には、団塊の世代約800万人が全員75歳以上となることで、高齢農業者のリタイアによる担い手不足が一層深刻化することが予想されているなど、いかに持続可能な農業を実現するかが最大の課題となっています。また、近年の気候変動や、食のグローバル化と国内市場の変化も今後の農業の方向

性に大きな影響を与えると考えられています。まさに、日本農業にとりまして、多様な担い手の確保育成と、このような変化への対応が急務であり、今後、関係機関・団体等の皆様と連携を強化しながら、この「国難」を乗り越えていかなければならないと思うところです。

こうした中、本県の畜産に関して、明るい話題を述べたいと思います。昨年10月に北海道で開催された、第16回全日本ホルスタイン共進会において、本県代表牛19頭のうち過去最高の5頭が優等賞を獲得、うち経産牛1頭が優等賞1席（洋野町：清水繁勝氏）を受賞し、35年ぶりの快挙となりました。この受賞は、厳しい酪農情勢の中、本県酪農家にとって大いに励みとなる話題となりました。

一方で、畜産における近年の経営環境については、皆さんご承知のとおり、経営を左右する飼料価格が高止まっている状態が長年続いていることなど、先行きに不透明感を増しており、今後一層、畜産農家のニーズへの的確な対応が求められています。

国においては、先月に令和7年度補正予算が決定され、畜産分野では収益性等の向上に向けた生産基盤の維持・強化対策として、引き続き、畜産クラスター事業等の取組を強化することとしており、まずは、こうした事業や制度等を最大限に活

(次頁へ続く)

用するとともに、それぞれの経営においても改革・改善を進め、本県の畜産を守り抜いていかなければならぬと思うところです。

昨年末に、令和6年の農業産出額が公表されています。それによると、本県の産出額は3,269億円で、うち畜産の産出額は1,864億円と、全体に占める畜産の割合が約6割を占めています。

本県の畜産が、地域経済にとって重要な地位を

占めていることを改めて認識し、生産者の皆様をはじめとして、関係機関・団体が一丸となって、一層の畜産振興に取り組んで参りたいと思います。

結びに、今年が本県の畜産にとりまして、実り多い年となりますよう、また、生産者をはじめ関係各位のご隆盛の年となりますよう、衷心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

謹 賀 新 年

新春を迎える心よりお慶び申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

令和8年 元旦

会長	伊藤 清孝	理事	千葉 和彦	理事	下山 琢也
副会長	渡辺 亨	タ	藤村 明智	タ	橋本 晋栄
常務理事	菊池 伸也	タ	武田 哲	監事	荒木田 裕樹
理事	杉原 永康	タ	中居 健一	タ	十和田 和也
タ	高橋 司	タ	佐々木 一弥	タ	小西 善之
タ	菊池 秀峰	タ	遠藤 政明		
タ	沼田 弘美	タ	村上 瞳		職員一同

令和8年畜産関係機関・団体等新年交賀会

令和8年1月7日、岩手県畜産団体懇話会（会長・伊藤清孝一般社団法人岩手県畜産協会会长）主催による、令和8年畜産関係機関・団体等新年交賀会がホテルメトロポリタン盛岡で開催されました。

当日は、岩手県議会畜産議員クラブ会員や関係機関・団体及び畜産関係会社等、合わせて143名が参加しました。

冒頭、伊藤会長からの主催者挨拶（要旨は本誌1~2ページに掲載）の後、佐藤法之岩手県農林水産部長及び千葉伝岩手県議会畜産議員クラブ会

長からのご祝辞を頂戴しました。その後、杉原永康岩手県農業会議長が牛乳での乾杯を行い、歓談に移りました。

宴たけなわの中、高橋司全国農業協同組合連合会岩手県本部長による力のこもった三本締めでお開きとなりました。飼料価格の高止まりや担い手不足など、畜産を取り巻く情勢は依然として厳しい状況ではありますが、参加者一同一丸となって、本県畜産の更なる発展に向け、決意を新たにする機会となりました。



挨拶する伊藤会長



祝辞を述べる佐藤農林水産部長



祝辞を述べる千葉畜産議員クラブ会長

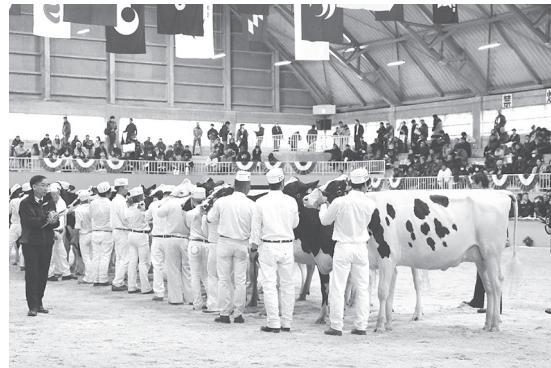
第16回全日本ホルスタイン共進会 本県出品牛大活躍！

10月25日～26日、第16回全日本ホルスタイン共進会（以下「全共」という。）が10年振りに北海道安平町で開催されました。全共は、乳牛のオリエンピックとも呼ばれ、乳牛の理想的な体型・資質の改良成果を競うものとなっています。

今大会は第1部から第20部までの出品区分で行われ、39都道府県から一般枠、Jサイア娘牛枠、高校特別枠毎に選定された、ホルスタイン種・ジャージー種の未経産及び経産牛計386頭が出品されました。

本県からは、第69回岩手県畜産共進会ホルスタイン種の部で選定された、ホルスタイン種の一般枠12頭（未経産4頭、経産8頭）、Jサイア娘牛枠4頭（未経産2頭、経産2頭）、高等学校特別枠1頭（未経産1頭）、ジャージー種2頭（未経産1頭、経産1頭）の合計19頭（未経産8頭、経産11頭）が出品されました。

審査の結果、本県出品牛は5頭が優等賞を獲得し、中でもJサイア娘牛枠の経産（第7部）で洋野町の清水繁勝さんが出品した「シミズフーム リンジ サラダ」は、栄えある優等賞1席を獲得しました。本県出品牛の



全共の様子

部門別1位獲得は、35年振りの快挙です。

また、高校生のリードマンコンテストに岩手県立盛岡農業高等学校の生徒3名が参加し、高校3年生の部で藤田梨愛さんが全国2位となるセカンドベストリードマンを獲得しました。酪農の将来を担う高校生が活躍したことは、本県の畜産にとって明るいニュースとなりました。

なお、本県出品牛等の成績は次のとおりです。

本県出品牛等の成績

1 ホルスタイン種

区分	出品枠	入賞	名号	市町村	氏名
未経産	第1部	Jサイア娘牛	優等賞3席	K6 モージヤスハリスリフレクション	葛巻町 中村 大地
			優等賞7席	ローズビクトリー ポツワスター	九戸村 欠端 浩美
	第2部	高校	1等賞4席	モリウ BW キラキラレボリューション	滝沢市 岩手県立盛岡農業高等学校
		一般	2等賞6席	ピースバレー ゴールド レディー ET	葛巻町 (株)PeaceValleyDalry
	第3部	一般	1等賞1席	ピースアーム アイシャンディー プロミス	洋野町 清水 繁勝
			1等賞5席	ピースバーニングルート J ラムダ アミー	葛巻町 (株)PeaceValleyDalry
	第4部		2等賞2席	OH デルタラムダ カテリナ エース	久慈市 大芦 博之
	第7部	Jサイア娘牛	優等賞1席	シミズアーム リンジー サラダ	洋野町 清水 繁勝
			2等賞5席	チヨリーランド ティアリージョブ グッド	盛岡市 佐々木 総隆
経産	第9部	一般	2等賞3席	カーミーデルタラムダ ホリー ET	洋野町 下館 友裕
			1等賞5席	セブンズヘブン エキスピラムダ ハーゲン	滝沢市 鈴木 稔
	第10部	一般	2等賞2席	ジエーエラムダ カリン	岩泉町 工藤 淳平
			1等賞9席	ノースランド デルタラムダ タイデイ	久慈市 外谷 友洋
	第12部	一般	優等賞9席	ノースランド ドマンスタンリー レクサス	久慈市 外谷 友洋
			1等賞8席	コワイホットジョブ リーフ レーモン	零石町 小岩井農牧(株)小岩井農場
	第13部	一般	2等賞4席	プロスベリー ラツキ チェンオーソム	遠野市 佐野 茂樹
			優等賞5席	セブンズヘブン BJ ゴールド ジヤコビー	滝沢市 鈴木 稔
	第14部				
	第15部				
	第16部				

もくじ CONTENTS

年頭のご挨拶	1	岩手県養豚振興会令和7年度第2回養豚経営研修会	… 5
役員のご挨拶	2	令和7年度全国優良畜産経営管理技術発表会	… 6
令和8年畜産関係機関・団体等新年交賀会	2	家畜の保健衛生(163)	… 6
第16回全日本ホルスタイン共進会本県出品牛大活躍！	3	畜産の研究(158)	… 8
第69回岩手県畜産共進会肉牛の部及び総合閉会式	4	乳用牛群検定情報(21)	… 9
地域畜産フェアの開催	5	畜産技術情報(112)	… 10
いわて飼料生産拡大シンポジウム	5	子牛市場及び家畜市場成績	… 12

発行所
一般社団法人 **岩手県畜産協会**
〒020-0605
岩手県滝沢市砂込389番7
☎ 019-694-1300(代)
FAX 019-694-1305
Internet Address <http://iwate.lin.gr.jp>
E-Mail Address info@iwate.lin.gr.jp
(定価110円)会員の購読料は会費に含まれる
印 刷 小松総合印刷

【「岩手の畜産」は、バックナンバーも含め協会のホームページをご覧いただけます。】

2 ジャージー種

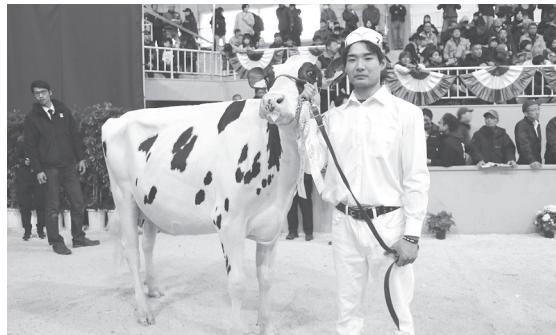
区分	出品枠	入賞	名号	市町村	氏名
未経産	第17部	一般	刊ワ G アイバーソン ティーラ	葛巻町	(株)GRFホルスタインズ
経産	第19部	一般	ブライアビクトリアスバーピン DF	一戸町	松川 穂

3 リードマンコンテスト（付帯行事）

区分	入賞	学校名	氏名
高校3年生の部	セントペストリードマン	岩手県立盛岡農業高等学校	藤田 梨愛
高校1・2年生の部	序列なし	岩手県立盛岡農業高等学校	澤川 漣
高校1・2年生の部	序列なし	岩手県立盛岡農業高等学校	鈴木 楓芽

4 多回（5回以上）出品者表彰

市町村	出品者	合計回数
雫石町	小岩井農牧㈱小岩井農場	11回
久慈市	外谷 友洋	6回
遠野市	佐野 茂樹	5回



Jサイア娘牛枠の経産（第7部）優等賞1席を獲得した
シミズファーム リンジー サラダと清水利月氏

第69回岩手県畜産共進会 肉牛の部及び総合閉会式

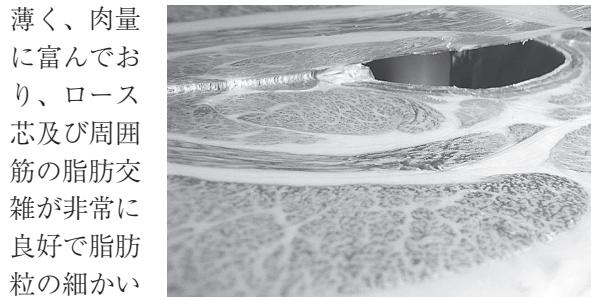
令和7年11月8日、当協会主催の第69回岩手県畜産共進会（以下「共進会」という。）肉牛の部及び総合閉会式が紫波町の株いわちくで開催されました。

出品頭数は去勢36頭、雌14頭の合計50頭で、格付はA5=45頭、A4=5頭と上物率100%でした。



名誉賞を受賞した
(株)畠山畜産

審査の結果、名譽賞（東北農政局長賞）は(株)畠山畜産（岩手中央農業協同組合）出品の「5勝47」号（去勢29.8か月齢、父牛名号「北美津久」号）が受賞しました。その枝肉成績は、枝肉重量 599kg、枝肉歩留64.8%、ロース芯面積 88cm、BMSNo.12と皮下脂肪が



名誉賞 「5勝47」号
岩手県農業研究センター畜産研究所提供

た。また、腿部の脂肪交雑も良好で他の枝肉に比べ優れていきました。

共進会は9月3日に総合開会式及び黒毛和種の部、5日に日本短角種の部、17日に馬の部、26日にホルスタイン種の部を開催しました。それぞれの受賞結果については、当協会ホームページをご覧ください。（<https://iwate.lin.gr.jp/posts/service1.html>）

表 全体の平均成績

	出品頭数 (頭)	生後月齢 (月)	枝肉重量 (kg)	枝肉歩留	格付A5割合 (%)	平均単価 (円)	最高額 (円)
去勢	36	30.4	562	67.3	94.4	2,529	2,096,500
雌	14	29.7	472	64.9	78.6	2,385	1,371,900
合計	50	30.1	537	65.3	90.0	2,494	

くづまき高原牧場
酪農教育ファーム認証牧場（第0301002号）
牧場体験承っております
アイスクリーム作り体験、牛・羊の世話、
乳搾り体験、羊の毛刈り体験、いただけ採取体験

謹んで新春のご祝詞を申し上げます





乳製品の宅配承っております かわいい動物たちとふれあえます

《ご予約・お問い合わせ先》
くづまき交流館プロト
TEL. 0195-66-0555
<https://kuzumaki.jp>

地域畜産フェアの開催

岩手県競馬振興協議会（事務局：岩手県畜産協会）では、馬事畜産振興協議会（事務局：中央畜産会）からの補助（補助元：地方競馬全国協会）を受けて、令和7年9月3日から11月8日までの期間、岩手県畜産共進会（以下「県共」という。）の各開催会場において地域畜産フェアを5回開催しました。

このフェアは、県内の消費者等に対して地域畜産について理解を深めるとともに、地方競馬の畜産振興等への貢献について周知することを目的に開催したものです。

会場では、県共の来場者に対して、岩手県産の畜産製品や地方競馬オリジナルグッズ等の詰め合



わせを延べ1,300セット配布しました。

開催期間中は、大雨に見舞われた日もありましたが、若者や年配の方、家族連れなど多くの来場者が出演ブースを訪れ、畜産製品等を手に満面の笑みを浮かべている表情が印象的でした。

なお、地方競馬の売上げの一部は、畜産農家の経営改善、後継者の育成、家畜の感染予防等、畜産振興に役立てられています。

いわて飼料生産拡大シンポジウム

令和7年11月18日、いわて飼料生産拡大シンポジウム（岩手県主催）が盛岡市内で開催されました。

冒頭の岩手県農林水産部佐藤部長の挨拶要旨は次のとおり。「飼料価格が高止まりしており、畜産経営において飼料費の低減が喫緊の課題。令和7年7月に策定した岩手農業生産強化ビジョンにおいて、草地・飼料畑の造成整備や耕畜連携による稲WCSの利用推進、コントラクターを核とした粗飼料の広域流通促進などの取組を進めることとしている。また、令和8年の3月に策定予定の新たな岩手県酪農肉用牛生産近代化計画において、飼料自給率の向上を目標に掲げる。こうした取組を実効性のあるものとするため、関係機関・団体との緊密な連携が不可欠であり、いわて飼料生産・利用行動指針の共同宣言を行い、関係者が一丸となって県産飼料の生産・利用拡大の機運を高めていきたい。」

岩手県養豚振興会令和7年度 第2回養豚経営研修会



謹んで新春のお祝詞を申し上げます 母豚2,000頭の一貫経営

・JGAP認証農場 ・良質豚ぶん堆肥の供給

登録番号 L140000002

令和7年11月19日、岩手県養豚振興会（橋本晋栄会長）は、令和7年度第2回養豚経営研修会を開催しました。

研修の前半では、「生産現場に役立つ最新製品の紹介」と題し、資機材を取り扱う賛助会員3社



「みなみよ～とん株式会社」

岩手町大字川口36-242-3

TEL. 0195-62-9087 FAX. 0195-62-9373

※精肉のご用命は岩手畜流会(食肉専門店)へ



橋本会長

後半では、(株)日本政策金融公庫から、農業経営において想定されるリスクと対策、事業計画の体系（収支計画、借入金返済計画、資金繰り計画等）と、その必要性及びメリットについて、実際の融資事例を交えながら説明がありました。

参加者からは、紹介された機材の実用性等につ

から、それぞれ①レーザー光線を利用した野生動物の忌避装置②硫酸資材を活用した畜舎排水の脱塞性装置③二酸化塩素ガスを利用した畜舎衛生管理について、その特長等の説明がありました。



研修会の様子

いて質問されるなど関心の高さが窺われるとともに、市場価格の下落、自然災害、家畜伝染病の発生等のリスクを想定し事前に備えておくこと、事業計画を作成する重要性について再確認することができた有意義な研修会でした。

するメガファームとなりました。

藤田さんの経営の特徴は、草地面積90haの計画的な更新による単収の向上と、大型機械による適期収穫を行い良質な粗飼料生産に努めていること、地域のキャトルセンターを活用した省力化、徹底した衛生管理による高品質な生乳生産、地元ジェラート店と連携した6次産業化支援など、全国の酪農経営のモデルとなりうる事例として高く評価されました。

受賞された藤田さんからは、「これまで、理想的な酪農を追い続けてきましたが、この発表を節目に、今後は将来の担い手である子供たちの意見を尊重し、寄り添いながら、一歩一歩前進したい」との力強いコメントがありました。

なお、本発表会は農林水産祭参加行事であり、令和8年度の天皇杯、内閣総理大臣賞の候補事例として選定されました。



令和7年度全国優良畜産 経営管理技術発表会

令和7年11月28日、令和7年度全国優良畜産経営管理技術発表会（公益社団法人中央畜産会主催）が都市センターホテル（東京都千代田区）を会場に開催されました。

全国から推薦された20事例の中から8事例が全国発表事例に選定され、当協会が推薦した八幡平市の酪農経営「藤田貴良さん、麻奈美さん」の発表事例が最優秀賞を受賞しました。



藤田貴良さんは、地元農協で畜産指導員・酪農ヘルパーとして10年間勤務したのち、「自分で考え、酪農の可能性を追求したい」との思いから、平成16年に就農し、以降、自給飼料不足を避けるため、牛舎増築、

増頭に併せて草地基盤拡大を進め、現在は、タイストール牛舎で経産牛約110頭を家族主体で経営

家畜の保健衛生 (163)

牛の好酸球性皮膚炎 ～ランピースキン病との鑑別症例～

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

動物の健康は人の健康につながる

●動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康維持に貢献します。

牛のランピースキン病（以下「LSD」という。）は、ウイルスによって引き起こされる牛や水牛の病気であり、国内では、2024年11月に福岡県で初めて発生し、同年12月26日までに福岡県（19農場）及び熊本県（3農場）で発生が確認されています。

動物用医薬品・畜産用資材・器材・医療機器・医薬品
MPアグロ株式会社

本社：北海道北広島市大曲工業団地6-2-13
盛岡支店：TEL 019(638)3291

LSD発生時には、法令に基づいた迅速な防疫措置（患畜等の隔離及び殺処分、移動制限、同居牛検査、畜舎消毒、汚染物品処理並びに発生農場及び周辺農場へのワクチン接種）がとられます。

LSDと類似した症状を示す疾病の一つに、好酸球性皮膚炎があります。本疾病はアレルゲンを原因とする非感染性の皮膚病であり、LSD鑑別が必要となります。今回は、当県で発生した好酸球性皮膚炎の症例について、LSDとの鑑別点を含めて紹介します。

1 発生概要

2025年6月27日、県央地域の黒毛和種繁殖農場において、成牛1頭の頭頸部、前後肢及び乳房周辺に2~3cm程度の結節がみられるとの通報が臨床獣医師から中央家畜保健衛生所にありました。また、同年7月14日、同農場の他の牛にも同様の結節がみられるとの通報がありました（写真1）。発症牛に対してはイベルメクチン外用剤が塗布されていましたが、皮膚結節は退縮しませんでした。

両例ともに、当所が農場へ立入り、調査及び検査を行いましたが、同農場は県外との関連はありませんでした。



写真1 好酸球性皮膚炎と診断された牛の結節病変
(R7当県発生事例)

2 検査結果

両例において、発症牛及び同居牛に発熱や表在

表 好酸球性皮膚炎とLSDの比較

疾病名	原因	疫学的背景	皮膚病変	その他の症状
好酸球性皮膚炎	アレルゲン	飼料変更、環境アレルゲン	丘疹・痂皮	
LSD	LSDウイルス	感染牛移入、吸血昆虫媒介	硬結性結節・壊死	発熱、リンパ節腫大

リンパ節の腫大は認められませんでした。発症牛の皮膚結節を生検トレパンにて採取し、得られた生検スタンプ標本を鏡検したところ、多数の好酸球及び好中球が確認されました。痂皮から有意菌は分離されませんでした。皮膚結節の組織では、表皮角質層、有棘層及び真皮浅層において、好酸球及び好中球を主とする炎症細胞浸潤が重度に認められました。好酸球を主とする炎症細胞浸潤は真皮深層の血管周囲にも中等度に観察されました。

3 考察

両例ともに検査成績及び疫学調査からLSDは否定され、好酸球性皮膚炎と診断されました。本疾病の原因はアレルギー反応といわれていますが、原因の特定には至りませんでした。本疾病はステロイド製剤に対し良好に反応することが報告されています。発症牛に対し、ヒスタミン製剤が約1週間投薬されましたが、皮膚結節の退縮まで約1か月間を要しました。

本疾病にみられる病変は、LSDの初期病変と類似するため鑑別が必要ですが、外観だけでは診断は困難です（写真2）。LSDの早期発見を念頭においていた「毎日の健康観察」と「異状が確認された場合の早期通報」をお願いします。



写真2 国内発生のランピースキン病発症牛 (農林水産省提供)

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

農畜産物の「安心・安全」を未来につなぐ

小田島商事株式会社

本社 〒025-0311 花巻市御町66番地 TEL 0198-26-4151

<動物用医薬品・ワクチン・プレミックス・器具機材>

花巻(営) 0198-26-4700 八戸(営) 0178-34-2284

大船渡(営) 0192-26-4740 プレミックス工場 0198-26-4726

横手・青森・古川・山形・酒田・福島・旭川・札幌・帯広・釧路

畜産の研究 (158)

黒毛和種去勢肥育牛への発酵TMR給与による出荷月齢の早期化と枝肉格付の向上

1 背景とねらい

本県における黒毛和種去勢肥育牛（以下「肥育牛」という。）の肥育開始月齢は、平均9.5か月齢（体重318kg）、出荷月齢は、平均30.3か月齢（体重822kg、枝肉重量514kg）となっていますが、岩手県家畜及び鶏の改良増殖計画（令和3年3月）では、肥育経営体の収支改善のため、令和12年度までに肥育開始月齢を9か月齢（体重303kg）、出荷月齢を27か月齢（体重790kg、枝肉重量494kg）へと肥育期間を短縮しつつ増体を確保することを目指しています。

肥育牛では、肥育中・後期の食滞等により、発育が停滞することがあります。これは、肥育前期に粗飼料を十分に食い込めておらず、腹づくりができていないことが一つの要因となっています。そこで、肥育前期において、粗飼料を十分に摂取させるため、牧草や配合飼料などの各飼料を均一化した「発酵TMR^{※1}」を給与し、出荷月齢を早期化する技術を開発しました。

※1 発酵TMR：乾草、稻ワラ、配合飼料、ミネラルやビタミン、水など全ての飼料を機械（ミキサー）で混合し、1か月程度発酵させたもの。

2 方法

肥育前期（9～13か月齢）の給与飼料について、発酵TMRを給与する区（以下「機械混合区」という。）、粗飼料及び配合飼料を飼槽で混合する区（以下「飼槽混合区」という。）、粗飼料及び配合飼料を分離して給与する区（以下「分離給与区」という。）を設定し、表1の給与メニューにより飼料給与を行いました。発酵TMRについては10

表1 肥育前期の給与メニュー (単位: kg/日・頭)				
月齢	9	10	11	12
配合飼料	4.2	5.2	6.2	7.2
大豆粕	0.8	0.8	0.8	0.8
乾草	3.0	2.5	2.0	1.0
稻わら	0.5	0.5	0.5	0.5
バイオバガス	0.2	0.2	0.2	0.2

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

- 共進会用馬・乳牛用頭絡手綱・馬衣・乳牛用新型牛衣・
肉牛用牛衣
- 牛馬手入用毛ブラシ・根ブラシ・金ぐし
- 普通乗鞍・ウエスタン鞍・ポニー用鞍等乗馬具・鞚馬具一式・畜犬具
- 電気工具用革ケース・カバン・ズック製袋カバン・リュックサックバンド・安全帯
- せんてい鉄ケース他造園工具ケース類 ●その他特別御注文のカバン等承って居ります

～11か月齢時の給与メニューを基に作成し、肥育前期に給与しました。また、肥育中期（14～21か月齢）・後期（22～27か月齢）については、当所慣行法により、各区とも配合飼料及び稻わらを給与しました。それらに基づき、各区の飼料摂取量、発育、枝肉成績を調査しました。

3 結果

飼料摂取量（乾物）は、図1のとおり、肥育中期から後期にかけて「機械混合区」がやや多く推移しました。また、乾物飼料中のNDF^{※2}摂取率（以下「NDF摂取率」という。）は図2のとおり、肥育前期では、「機械混合区」のNDF摂取率が他の区を上回りました。肥育前期の発酵TMR給与で選び食いが少なく、粗飼料が十分に採食されたため、肥育中期・後期の飼料摂取量が多くなったと考えられます。

発育について、体重の推移を図3に示しました。体重は、肥育中期の後半から「機械混合区」が他の区を大きく上回って推移する結果となりました。

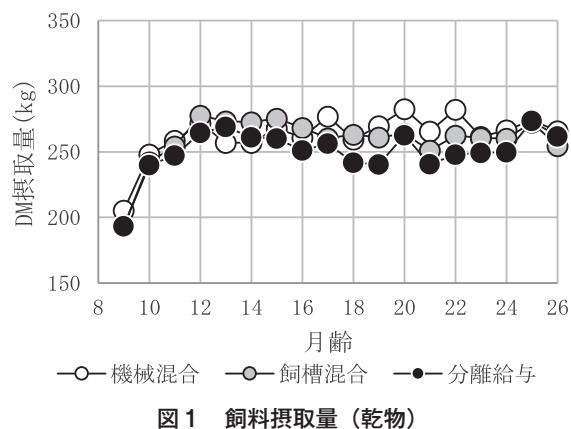


図1 飼料摂取量（乾物）

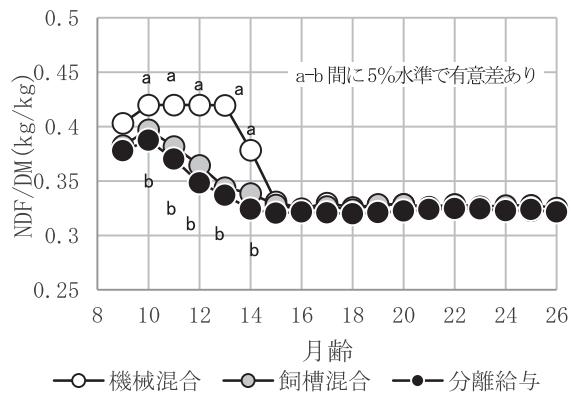


図2 乾物飼料中のNDF摂取率

創業110年品質第一手造りの店

岩手県指定店 塩釜馬具店

盛岡市大沢川原2丁目2の32 TEL 019-622-5393 (労働福祉社会館隣)

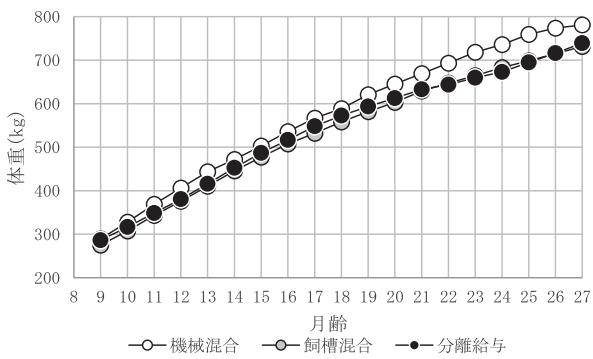


図3 体重の推移

枝肉成績を表2に示しました。枝肉重量は、「機械混合区」で他の区を上回りました。また、A5等級割合が100%と他の区より優れており、枝肉単価も他の区より約180円高くなりました。

以上の結果から、肥育前期に発酵TMRを給与することにより、肥育期間を通して乾物摂取量が確保され、出荷月齢を27か月齢まで短縮しても十

分な枝肉重量が確保でき、高いA5等級割合になることが分かりました。

※2 中性デタージェント繊維：飼料中の総繊維成分の指標

4 留意事項

発酵TMRは飽食させます。飼槽が空になった場合は追加します。また、開封後は、夏季は3日以内、冬季は4日以内を目安に使いきります。

この肥育牛への発酵TMR給与技術については、岩手県農業研究センターのホームページにマニュアルを掲載しています。QRコードから参照いただけますので、ご覧いただければ幸いです。



(執筆者：岩手県農業研究センター畜産研究所
家畜育種研究室 高杉 亘)

表2 枝肉成績

(単位：か月齢、kg、頭、kg、cm²、cm、ナンバー、円/kg)

試験区	月齢	終了時 体重	格付頭数 A5割合	枝肉重量	ロース芯 面積	バラの 厚さ	皮下脂肪 の厚さ	歩留 基準値	BMS No.	単価
機械混合	27.2 ±0.1	764 ±65	A5*8 100%	482 ±46	68.3 ±9.7	8.0 ±0.5	2.2 ±0.4	75.3 ±1.3	10.6 ^a ±1.1	2,383 ±151
飼槽混合	27.1 ±0.1	740 ±71	A5*5 A4*3 63%	464 ±44	61.8 ±10.8	7.7 ±0.6	2.1 ±0.2	74.9 ±1.5	8.1 ^b ±1.9	2,201 ±254
分離給与	27.1 ±0.1	739 ±50	A5*4 A4*4 50%	468 ±34	68.1 ±12.6	7.9 ±0.9	2.1 ±0.3	75.8 ±1.8	8.8 ^{ab} ±2.3	2,208 ±212
有意差	n.s.	†	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	※	†

平均値±標準偏差 n.s. : p≥0.1、† : p<0.1、※ : p<0.05 a-b間に5%水準で有意差あり

乳用牛群検定情報(21)

一般社団法人家畜改良事業団

～妊娠、空胎日数、乾乳～

今回は、経産牛の管理状況として妊娠、空胎日数、乾乳の3項目を紹介します。これらは、乳牛管理として、飼養者の管理方針が強く影響する部分です。

1 妊娠

検定成績表の妊娠欄は、検定日に妊娠牛が何頭

いるか、13ヶ月の推移を示す情報です。未経産牛も正しく牛群検定に加入していれば妊娠牛の頭数を把握し経営判断に利用出来ます。牛群の何パーセントが妊娠していれば良いかよく話題になりますが、管理方針により大きく変化するため明確な指標はありません。これは、例えば、初妊牛導入を盛んに行っている、不受胎牛は早期に淘汰するなどといった管理方針です。妊娠鑑定の方法にも左右されますので、一概に繁殖技術を評価する値ではありませんが、おおよそ牛群の60%以上の妊娠率を目安とすることが多いようです。

表のように妊娠頭数が表示されていますので、経産牛頭数で割り算してみてください。繁殖が長

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

家畜改良事業団では、牛凍結精液の他、全国的な評価が高まっている体外受精卵（IVF卵）、発情周期の同調鈍性発情・卵巣停止に効果を発揮するイージーブリード、凍結精液の保存容器（MVE社製）を取扱っております。ご利用についてのお問い合わせ・パンフレットのご請求は、盛岡種雄牛センターまでお願い致します。



一般社団法人 家畜改良事業団盛岡種雄牛センター

〒028-4134 岩手県盛岡市下田字柴沢301-5
TEL 019-683-2450 FAX 019-683-1334

期化している場合は、60%を下回ることがあります。ただし、管理方針等の加減は各自利用者が行ってください。

表 検定成績表（牛群成績）

検定年月日	移動 13ヶ月 成績	繁殖状況(除藉牛を含む)											
		妊娠	平均	59 以下	60 ~	85 ~	115 ~	145 以上	乾乳	平均	39 以下	40 ~	70 以上
20.08.21	10	126	30	10	%	%	%	%	63	11	78	11	11
20.09.22	10	182	20						62	13	75	13	13
20.10.22	9	165	22						62	13	75	13	13
20.11.22	9	164	22						72	13	67	20	20
20.12.20	12	187	8						58	67	19	63	19
21.01.20	14	200							64	63	24	59	18
21.02.22	14	201	10						60	63	24	59	18
21.03.22	13	206	11						67	64	17	67	17
21.04.23	11	149	10	10	10	20	50		64	18	65	18	18
21.05.22	11	149	10	10	10	20	50		64	18	65	18	18
21.06.21	13	142	8	17	8	17	50		64	18	65	18	18
21.07.23	15	150		21	7	21	50		64	18	65	18	18
21.08.22	16	149	7	14	7	14	57		65	12	71	18	18
平均・計		12	168	10	8	3	24	55	64	17	67	16	16
前年成績		12	151	12	15	12	14	47	55	15	75	9	2

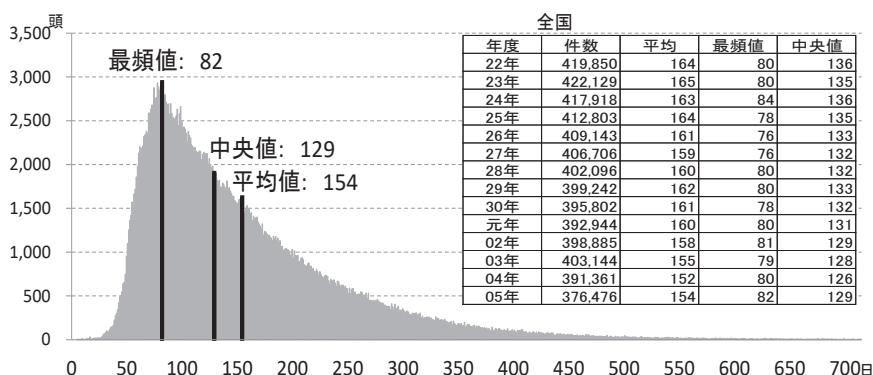


図 令和5年 牛群検定における空胎日数の度数分布（全国）

2 空胎日数

空胎日数は分娩後60～80日で授精開始し、100日程度で妊娠するのが理想とされています。ところが、図に示したとおり、牛群検定の平均値では154日と目標から大きく外れています。この図は正規分布でないので注意が必要です。最頻値では82日となっており、中央値129日以下で妊娠する牛が半分を占めていますので、平均が154日ならば、100日超えてから授精開始するといった管理は誤りです。

この農家の事例では年間平均としては168日であり、145日以上となった比率が55%と極めて高く課題の多い事例となります。

3 乾乳

最近では、乾乳期短縮法といった新しい酪農技術も提唱されていますが、基本の乾乳日数は60日となります。乾乳期短縮法を採用しないければ、表の「39日以下」の区分の多くは、分娩予定日の失念によるものと考えられます。

これまで、注意するようにしましょう。また、逆に乾乳期間が「90日以上」の区分は、事故や乳房炎、繁殖の長期化等のトラブルで、搾乳の継続が困難となり、分娩よりかなり早期に乾乳せざるを得ない牛を考えられます。トラブルが多いことを示しますので注意しましょう。

畜産技術情報(112)

子牛の死廃を減らそう

1 2024年度の「死廃ワースト10」から対策を考える

NOSAI岩手によると、2024年度の死廃件数は、肉用子牛・胎子で2,060件、乳用子牛・胎子で444件でした。疾病別では肉用牛、乳用牛とも傾向は同じで、1番多い「その他の胎子異常（子）」が約半数を占め、2番目に「腸炎（胃腸炎を含む）」、3番目は「心不全」、4～6番目は「子牛虚弱症候群」、「肺炎」、「胎子死（母牛の死廃）」となっています。

子牛の死廃頭数を減らすためには、分娩事故、生後の消化不良や各種感染症、分娩前の母牛の飼養管理について見直すことが有効と考えられます。今年は、子牛の死廃事故を減らすよう、管理を再確認しましょう。

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

○草地造成地用に
チソ リンサン カ
草地484号 14-28-14

○カリ過剰対策に

豊かな大地を育む

B.B.△肥料

○苦土の補給に
チソ リンサン カ 外
草地211号 20-10-10-5

チソ リンサン カ 外
草地NP260号 12-6-0-9
草地NP420号 24-12-0-7

〒025-0312 花巻市二枚橋第5地割146番地 TEL0198-26-3313 FAX0198-26-3316



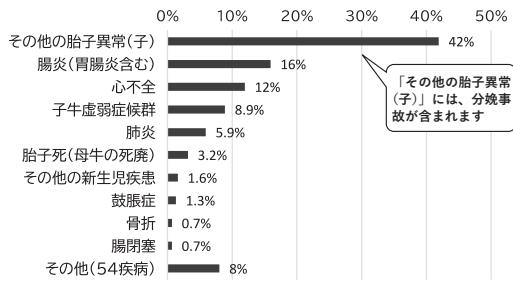


図 1 2024年度死廃ワースト10 肉用子牛・胎子

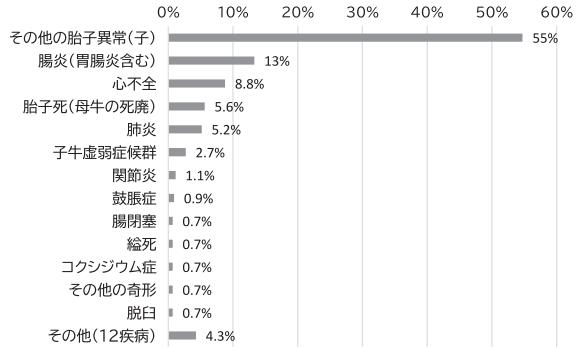


図 2 2024年度死廃ワースト10 乳用子牛・胎子

2 分娩時の牛床は「乾いた状態」を保ちましょう

分娩牛房の牛床は、乾いていることが推奨されます。糞尿の汚れはこまめに除去して、牛床の乾燥に努めます。牛床が乾いていると、乳頭への汚れの付着も防止できることから、授乳時の衛生にもつながります。

敷料には、イナワラや乾草、麦稈などの長いものを使います。細かいオガクズやモミガラなどは、産まれたばかりの子牛の鼻や口、臍に入り込みやすいため感染症の一因となります。

分娩に立ち会う際は、子牛の口の下や臍に清潔なブルーシート等を敷きます。牛床は、母牛の糞尿、胎水や大腸菌、サルモネラ菌、口タウイルス、カビなど多くのもので汚染されています。初乳による免疫を獲得する前の子牛がこれらを口や臍に入れないように、細心の注意を払います。



図 3 牛床と子牛の間には清潔なシートなどを敷く

3 臍帯の消毒を確実に行いましょう

(1) 臍帯の消毒を1回行い、様子を見る

産まれた時、臍帯（羊膜鞘=毛の生えていない部分）は10cmくらいの長さで切れているのが理想です。臍帯を消毒する際は、きれいな使い捨て手袋を使用して、臍帯（羊膜鞘）をヨードチンキ（アルコールが含まれるもの）に浸すか、スプレーで臍帯の外側に十分に塗布します。その後、3日、7日、10日後など定期的に臍帯の様子を観察し、異常（硬くなる、腫れる等）があれば獣医師に相談してください。



図 4 臍帯（羊膜鞘=毛の生えていない部分）は、産まれたとき、10cmくらいで切っているのが理想



図 5 臍帯消毒例：カップに入れたヨードチンキに浸ける（2023酪農カレンダー：岩手県乳質改善協議会より）

(2) 臍帯消毒の注意点

ア ヨードチンキは臍帯の中には入れないこと

臍帯の中にヨードチンキが入ると、極めて強い刺激となり炎症を起こします。臍帯の中には肝臓に続く管、膀胱に続く尿管があり、細菌等に感染すると全身に影響が及ぶ可能性が高くなります。微熱が続く、尿が出にくい、関節が腫れる、発育が悪いなど重篤化する場合が多く、治療に時間もかかります。

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

小ロットのオンデマンド印刷から
大量商業印刷まで

各種印刷・ドキュメント処理・アンケート調査支援



小松総合印刷株式会社

岩手県盛岡市鉢屋町15-4 TEL (019) 624-1374 FAX (019) 623-6719
E-mail: mail@komatsu-gp.com URL: http://www.komatsu-gp.com

イ ヨード剤はアルコール系を使う

アルコール系のヨード剤は、ヨードチンキ、イソジンアルコールなどです。ヨード剤だからといって、搾乳牛用の乳頭ディッピング剤は使用しないでください。乳頭ディッピング用のヨード剤はヨウ素の濃度が薄いため消毒効果が低いほか、保湿成分が含まれているため乾燥しにくい特徴があります。

分娩前後の飼養管理のポイント

- 敷料にはイナワラなどの長いものをたっぷり使い、牛床を乾燥させる
- 産まれ落ちる子牛の口や臍の下には、清潔なシートを敷く
- 子牛の臍帯の外側にヨードチンキを1回、たっぷり浸漬（塗布）する

(参考: 2025年10月 和牛子牛市場ワンポイント講座「子牛が生まれる時の管理」岩手県農業共済組合 九十九美月)

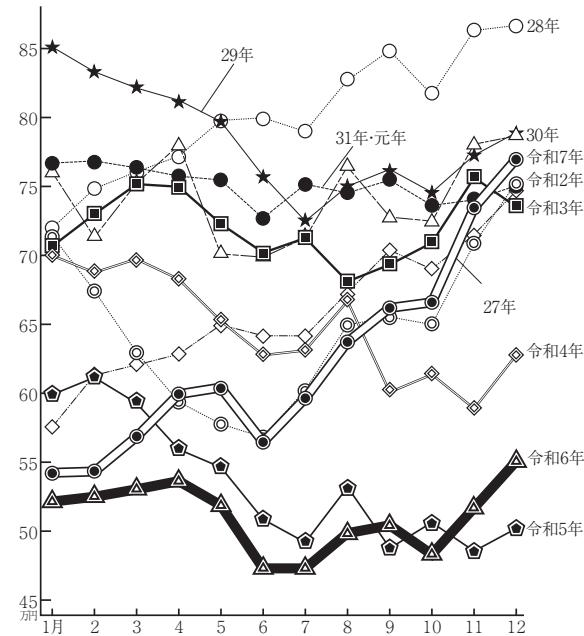
県内黒毛和種子牛市場成績

(全農岩手県本部)

市場区分	性別	令和7年11月			令和7年12月		
		頭数	平均価格	平均体重	頭数	平均価格	平均体重
県南初日 胆江・気仙	雌	83	643,553	295	103	663,706	298
	雄						
	去勢	95	767,348	337	128	806,240	325
	計	178	709,624	317	231	742,686	313
県南2日目 磐井	雌	98	651,862	289	110	707,700	287
	雄						
	去勢	107	764,284	333	103	836,673	331
	計	205	710,541	312	213	770,067	308
中央初日 滝沢・雪石 八幡平・玉山 岩手・葛巻	雌	118	690,213	285	134	716,051	280
	雄						
	去勢	177	783,287	312	175	814,088	310
	計	295	746,057	301	309	771,573	297
中央2日目 紫波・盛岡 花巻・北上 遠野	雌	115	680,383	292	95	732,044	291
	雄						
	去勢	120	806,804	322	152	834,567	318
	計	235	744,939	307	247	795,135	308
中央3日目 宮古・北部 奥中山・久慈	雌	120	684,787	294	142	719,245	280
	雄						
	去勢	160	794,867	321	184	804,040	313
	計	280	747,690	310	326	767,105	299
合計	雌	534	672,586	291	584	708,624	286
	雄						
	去勢	659	784,998	323	742	817,573	318
	計	1,193	734,681	309	1,326	769,589	304

※ 価格は円（税込み）、体重はkg

子牛価格の推移



県内家畜市場における指定肉用子牛取引実績

公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会

区分	令和7年11月		令和7年12月	
	頭数	平均価格	頭数	平均価格
黒毛和種	1,025頭	725,769円	1,165頭	767,065円
褐毛和種	-	-	-	-
日本短角種	-	-	-	-
ホルスタイン種 (雌を除く)	-	-	-	-
交雑種・乳	3頭	281,967円	1頭	189,200円

※ 指定肉用子牛とは、肉用子牛生産者補給金制度における、平均売買価格算定の対象となる牛（区分ごとに体重の範囲が定められている。）

※ 平均価格は消費税込み

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる! 畜産! 8

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにて活用ください！
配信中の内容：総集編 思いが繋ぐ畜産の未来／明るい未来へ向け
畜産DXの取り組み／乳用牛改良の取り組み／地
域ぐるみで畜産飼料生産！ほか

(公社) 中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846



スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索
がんばる畜産